



# 補習校だより

グアム補習授業校  
2021 (令和3) 年度  
No. 07  
11月6日 (土)

## 読書の秋

校長 佐藤 康隆

今年度の「ノーベル物理学賞」を受賞した真鍋鍋淑郎先生は、気象学の研究を行っていました。この素晴らしい栄誉に輝いた背景には、「好奇心」や「もっと調べてみたい」と考えたことなどが報道されていました。アメリカには、そのようなことを実現することができる自由な研究の環境があったことが大きな要因であるかと思われます。

同じく2019年に「ノーベル化学賞」を受賞した吉野彰先生は、リチウム電池開発の功績が認められました。彼は、小学校4年生の時に当時の担任の先生に薦められて読んだマイケル・ファラデーの『ろうそくの科学』が化学の道へのきっかけとなったことは有名な話です。彼の「書齋」には科学の発展に寄与した科学者の功績が書かれた書籍がとりそろえてあるそうです。「読書の秋」で目指す一つのジャンルであるかと考えます。

話は変わりますが、たまたま、光触媒関連の開発で有名な藤島昭先生の講演をオンラインで聞く機会があり、真鍋先生の業績とたくさん共通点があることに気付きました。藤島先生は大学院での研究で、水の中の酸化チタンの結晶に光をあてると酸素が発生することを発見したそうです。1972年のことで、当時『Nature』誌に藤島先生の論文が掲載されたのですが、注目されなかったようです。しかし、根気強く研究を続け、今や光触媒の技術は壁面加工や水・空気の浄化にとどまらず、コロナウィルス対策や二酸化炭素を減らす技術にも応用され、このあとの研究の発展を大いに期待したいところです。先生は上海で研究を進めているそうです。藤島先生のご講演では、児童文学者として有名な加古里子(かこさとし)先生との親交について語っています。学校の学芸会などで有名な「どろぼうがっこう」は、彼が論文の下書きの裏に書いて、子どもたちの前で紙芝居として発表したことが始まりだそうです。かこさとし先生のご専門は、実は藤島先生と同様に応用化学なのです。

児童書の中には、科学的な学びのきっかけになるエッセンスがたくさん詰まったものが多いです。絵本もありますので低学年の子どもたちにも、気軽に手に取って読めることかと思えます。なかなか日本から手に入れることは難しいでしょうが、ネットで読めたり電子ブックもあったりします。

11月、【読書の秋】を「好奇心」「不思議が面白い!」「科学の薦め」「読書から学びましょう」などのキーワードでとらえてすすめていってほしいなと思います。



☆☆☆☆☆☆☆☆ お知らせ ☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【嘆願書へのご協力】

全日制と連携をしながら、先週急ではございますが「外務省補助の継続」に関する嘆願書の提出をお願いいたしました。多くのご署名をいただくことができました。お忙しい中、またお時間がない中ご理解とご協力に大変感謝いたします。COVID-19 による日本人学校経営への影響が最小限に抑えられるよう、今後とも学校としても努力をしていきます。

【クリスマスイベント】

12月11日（土）は、終業式前唯一の登校日となります。2年間実施できておりませんでした「クリスマスイベント」ですが、今年度は何ができるかPTAの皆さんとともに検討しております。COVID-19がこのまま落ち着くかさらに良い方向に向かうことを祈るばかりですね。



【Tシャツ完成！！】

新PTAの役員の皆様が忙しい中、本当に一生懸命に取り組んでいただきました「ファンドライズ」ですが、無事目標の100枚に達し、本日Tシャツも配布することができました。オンラインなどで登校できないご家庭につきましては、都合の良いときにご連絡いただき、学校に取りに来ていただければと思います。1月に予定されている「スポーツ大会」に使用します。もちろんそれまでに使用してください！

なお、同じデザインで黄色のYouth-Sサイズが在庫がありますが、そのほかのサイズや黒・赤については在庫がありません。もし、まだ必要だというご家庭がありましたらPTAもしくは、校長までご連絡・ご相談ください。

○○○○○

今後の予定

○○○○○

- 11月13日（土）日本語検定
- 25日（木）サンクスギビングデー（祝日：学校休校）
- 12月11日（土）クリスマスイベント（予定）  
※日本語会話クラスは同じ週に実施予定
- 18日（土）2学期終業式  
① ② ③ 授業 ④ 終業式（予定）
- 1月 8日（土）3学期始業式
- 29日（土）スポーツ大会

「補習校だより」は、学校のホームページでもご覧になれます。  
<http://japaneseschoolguam.com/> ホーム > お便り > 補習校だより